

平成27・28年度  
探究型学習によるたくましい高校生育成事業

# 研究指定校事業 報告書集



平成29年3月

青森県教育委員会

# まえがき

21世紀の社会は、新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる知識基盤社会であるといわれています。さらに、近年顕著となっているのは、知識・情報・技術をめぐる変化の早さが加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展するようになってきていることであり、しかもそうした変化が、全ての子供たちの生き方に影響するものとなっています。

こうした時代を生きる子供たちには、これからの地域社会をけん引していく人財<sup>ひら</sup>として、新たな価値を生み出し、未来を切り拓いていく力を身に付けることが求められます。青森県教育委員会では、施策の柱の一つに「学ぶ意欲や主体的に探究する力の向上」を掲げ、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に探究する力の育成に取り組んでおり、高等学校においては、様々なテーマで探究型学習に取り組むことにより「探究心と自発性」を磨き、学習意欲を高め、学力向上を図ることを目的として、平成27・28年度の2年間にわたり「探究型学習によるたくましい高校生育成事業」を実施してきました。

その取組の一つである「研究指定校事業」においては、県立高等学校15校を研究指定校として2年間指定し、それぞれの学校が自校の特色を生かした研究テーマを設定した上で、教科・科目、総合的な学習の時間等において探究型学習に取り組むことにより、自ら将来を切り拓くたくましい高校生の育成について実践研究を行ってきました。

本冊子は、各指定校が取り組んできた内容や成果等についてまとめたものです。今後、本冊子の実践事例を参考にしながら、県内全ての高等学校が、それぞれの学校の特色や地域の実態等を生かし、探究型学習を推進していただくことを期待しています。

結びに、本事業の実施に当たり、御協力いただきました研究指定校及び各校の取組を御支援くださった関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

※ここでは、人は財（たから）であるという基本的な考え方から「人材」を「人財」と表しています。

平成29年3月

青森県教育庁

学校教育課長 和 嶋 延 寿

# 目 次

まえがき

|    |            |    |
|----|------------|----|
| 1  | 県立青森西高等学校  | 1  |
| 2  | 県立弘前高等学校   | 7  |
| 3  | 県立弘前南高等学校  | 13 |
| 4  | 県立八戸高等学校   | 19 |
| 5  | 県立八戸北高等学校  | 25 |
| 6  | 県立木造高等学校   | 31 |
| 7  | 県立五所川原高等学校 | 37 |
| 8  | 県立黒石高等学校   | 43 |
| 9  | 県立百石高等学校   | 49 |
| 10 | 県立三本木高等学校  | 55 |
| 11 | 県立三沢高等学校   | 61 |
| 12 | 県立田名部高等学校  | 67 |
| 13 | 県立青森工業高等学校 | 73 |
| 14 | 県立八戸商業高等学校 | 79 |
| 15 | 県立三沢商業高等学校 | 85 |